

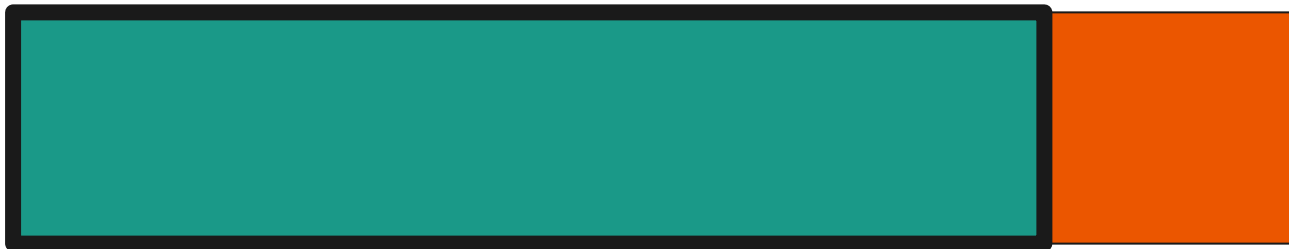


輪読会の進め方

1. 学習範囲への取り組み(全員)
2. 輪読会に向けた準備(担当者)
3. 輪読会当日の流れ(全員)
4. 輪読会当日の流れ(担当者)

itch

1.学習範囲への取り組み(全員)



輪読会前に行うこと



1.学習範囲への取り組み(全員)

参加者は輪読会の前にあらかじめ学習範囲について取り組みます

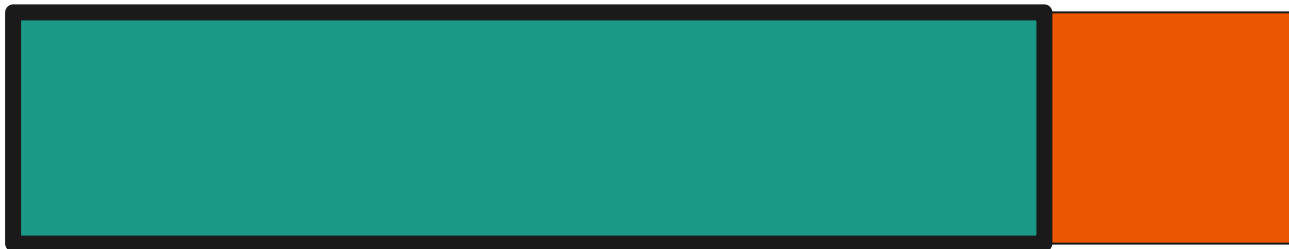
学習範囲は担当者によって変わります

輪読会に向けて質問をあらかじめ用意できればGood

担当者や参加者が答えを用意する時間ができるので

輪読会が始まる前に質問をslackに書いておくのがベター

2. 輪読会に向けた準備(担当者)



輪読会前に行うこと



2. 輪読会に向けた準備(担当者)

担当者は輪読会までに学習範囲を解説するための準備を行います
解説用のスライドやプログラムはslackの資料チャンネルへ
可能ならGitHubにも残します

スライドやプログラムの用意があると全体の理解が深まります
ex)こんな応用例もあります、業務で使ってみました等

3. 輪読会当日の流れ(全員)



輪読会で行うこと



3. 輪読会当日の流れ(全員)

輪読会は毎週月曜日の19:30から始まります

時間までに[Skypeの会議リンク](#)に参加してください

輪読会は1回につき60分

(解説35分, 質問15分, 担当及び学習範囲の決定10分)

4. 輪読会当日の流れ(担当者)



輪読会で行うこと



4.輪読会当日の流れ(担当者)

担当者の役割は進行と解説、担当及び学習範囲の決定

進行 4人くらい集まったら解説を始めます

解説 学習範囲の解説を行います、質問にも適宜答えます

4. 輪読会当日の流れ(担当者)

担当者の役割は進行と解説、担当及び学習範囲決め

担当及び学習範囲決め

次回担当者は学習範囲を、次々回の担当者は立候補により決めます

決まったらGitHubのReadmeに書き残します

右の例ではBさんが
学習範囲を決めます

回	担当者	学習範囲
今回	Aさん	1~20p
次回	Bさん	20~40p
次々回	Cさん	